

事業概要シート

施策	0602	高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	介護予防教室等事業	現状維持	予算額 3,331 千円 << 3,308 >>千円
事業期間	平成18年度～ ～		財源内訳 国庫支出金 830 千円 県支出金 415 千円 地方債 0 千円 その他 908 千円 一般財源 1,178 千円
根拠法令要綱等	介護保険法 地域支援事業実施要綱 介護予防教室（出前講座）実施要領		

【事業の目的・概要・対象】

◆事業の目的

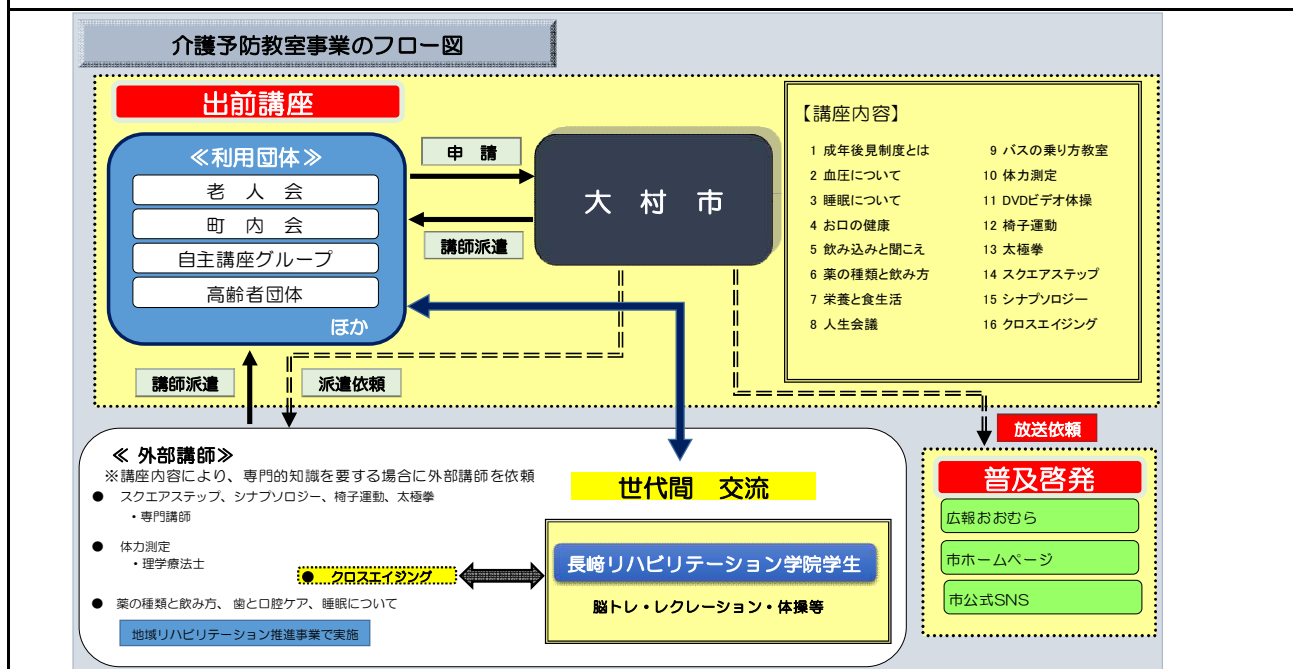
急速な高齢化社会の進行とともに、要支援・要介護高齢者や虚弱高齢者が増加している中で、介護予防に関する知識や情報を一般の高齢者が自ら学び、健康の重要性を認識することで介護予防に役立てていただく。また、介護予防や認知症予防に楽しんで取り組むことで、継続的に介護予防普及に対する意識の向上を図る。

◆事業の概要

- (1) 介護予防の情報提供と健康維持のための出前講座の開催
 - ①魅力のある豊富な講座の開催
 - ②他課と連携した講座の実施
- (2) 介護予防事業の普及啓発
 - ①広報等を利用した介護予防事業の普及活動
 - ②人生ノートの配布と高齢者向けバスの乗り方講座等の介護予防講座の開催
 - ③若い世代との交流・連携

◆対象

10名以上の大村市内の高齢者のグループ（老人会、町内会、自主活動グループ、高齢者支援団体など）



事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	介護予防教室開催数	回	101	160	160	160	160
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	介護予防教室参加者数	人	1,438	2,240	2,240	2,240	2,240
②	介護予防教室利用団体数	団体	54	50	52	54	56

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	1,924	2,386	3,308	3,331	3,331	3,331	17,611
国庫支出金	778	925	824	830	830	830	5,017
県支出金	240	297	412	415	415	415	2,194
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	524	652	902	908	908	908	4,802
一般財源	382	512	1,170	1,178	1,178	1,178	5,598
人件費	5,112	5,218	5,178	4,794	4,794	4,794	29,890
職員(人)	0.69人	0.70人	0.69人	0.64人	0.64人	0.64人	4.00人
時間外勤務(h)	47h	64h	80h	70h	70h	70h	401h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	7,036	7,604	8,486	8,125	8,125	8,125	47,501

妥当性 (市の関与)	高齢者が加齢とともに心身の機能低下をきたし、要介護認定者へ移行しないよう介護予防教室を通じて介護予防の知識の普及啓発を図ることの必要性は高く、介護予防の取組を行うことにより、要介護認定者の抑制に繋がるため、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	本事業を通じ、高齢者自身の生活機能の低下防止と生きがいつくりの意識の定着を図ること、地域の高齢者が主体となった保健福祉の向上が図られる。
効率性 (コスト)	介護予防について多角的なメニューを企画し、内部講師だけでなく専門的な外部講師の派遣を必要としているが、必要最低限の経費により実施しているため、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり